

## IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ  
RI.D2590ガバナー／志村 雄治  
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。  
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

### 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821  
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712  
http://yokohamaasahirc.cho88.com  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン  
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

## 2022年9月21日 第2477回例会 VOL.54 No.10

- 司会 SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会長 安藤 公一
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	12名
本日の出席率	63.16%	修正出席率	73.68%

### ■本日の欠席者

五十嵐、市川、佐藤（真）、東谷、中谷、福村

### ■他クラブ出席者

安藤、新川（地区）

### ■会長報告

安藤 公一

大型で強い勢力だった台風14号は、およそ1週間に渡り日本全国に猛烈な風雨をみまい、その被害も広範囲に渡っています。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げます。気象庁も過去に経験のないほどの猛烈な台風被害の恐れありと早々にアナウンスしていました。そのお陰もあり、数名の死者・行方不明者はあったものの、人的被害は最小限に抑えられたと感じています。事前準備と早期避難は重要だと痛感しています。この台風のせいで、新型コロナの話題は3番手・4番手くらいに押しやられたようでした。まだ収束した訳ではないので、引き続き感染対策は続けていかねばなりません。台風一過の晴天は望めませんでした。季節が急進し一気に秋の陽気になりました。朝晩は涼しさを通り越し、肌寒さを感じる程に気温が下がりました。僅か1日で10℃も気温が下がり健康管理に気を付けないといけないと実感しています。

この1週間での最大の話題は、9月19日で行われた英国エリザベス女王の国葬だったと思います。在位70年という長い間国王の務めを果たし、国をまとめてこられたことに多くの英国国民が心よりの弔意を示している報道を見ました。葬儀の最後には God save the Queen から God Save the King にしっかりと変わっていました。英国の歴史を感じさせる荘厳な儀式だったと思います。

変わって、明るい話題としては、女子プロゴルフの東海クラシックでは昨年11月のプロテスト合格した新人の尾関彩美悠選手が最終ホールに見事なバーディーを奪い初優勝を飾りました。まだあどけなさの残る19歳。今後の活躍が期待されます。優勝決定時に男性キャディーが涙していたのは印象的でした。一方、プロ野球ヤクルトスワローズの村上宗隆選手、この1週間では日本人最多本塁打記録の更新はなりません。早期の新記録達成を期待します。

### ◎地区関係

- 1) 10月13日(木)に地区の財団セミナー開催の案内がきました。開催の案内がきました。安藤と増田委員長が参加する予定です。
- 2) 11月11日-12日開催の地区大会の案内がきました。従来通り全員登録を予定しています。日程の調整をお願いします。
- 3) 「世界ポリオデー」イベント開催の案内がきています。10月23日(日)13時～16時桜木町駅前広場にて開催されます。
- 4) RLIパートIIが10月16日(日)9時～17時

聖光学院にて開催されます。旭ふれあい区民まつりと日時がかぶりますので、調整してみます。

#### ◎クラブ関係

5) 9/28(水)例会時に志村ガバナーが来訪されます。

6) 10/16 開催予定の旭ふれあい区民まつりですが、今回は感染予防対策のため模擬店での飲食は禁止となり、基本的に物販もできません。そのような規制のかかる中で横浜旭 RC として何をどのようにアピールするのかに対するアイデアを皆様からお聞きしたいと考えています。思い付きでも構わないので、自由なご意見を頂きたく、宜しくお願い致します。

#### ■幹事報告 新川 尚

1) 例会臨時変更のお知らせ

横浜保土ヶ谷 RC 10月11日(火)休会

#### ■公共イメージ委員会

「ロータリーの友」9月号 二宮麻理子

横組み

P 4 RI 会長メッセージ

グアテマラを訪れたときのエピソード

P 7 「友」創刊 70 周年特別企画

バックナンバーをたどる「友」70 年

P 24 裏千家前千玄室氏のインタビュー

縦組み

P 24 ロータリーアットワーク

ウクライナから避難してきた中学生卓話

笠岡東ロータリークラブ

#### ■親睦委員会 北澤 正浩

#### 新入会員歓迎会・前会長幹事慰労の会のご案内

新たに仲間になっていただいた会員の歓迎と前会長・幹事の慰労会を企画いたしました。何かとお忙しい時期ではありますが、是非ともご参加ください。

日 時 10月1日(土)午後6時より

会 場 やきとり処い志井

参加費 5,000 円程度

《参加連絡先》北澤正浩

携帯 090-7835-3033

mail : kitazawa03@gmail.com

#### ■先週のクラブ協議会追加原稿

▷クラブ管理運営委員会 委員長 北澤 正浩

現在のところ親睦・出席・会報・プログラムとクラブ運営については各部門問題ありません。但し、委員全員で委員会を運営する為の当番制については現状では満足に機能されず、担当の負担に偏りが生じておりますので当番表を

掲示する等の改善を行います。今後も委員全員と協力しながら進めてまいります。

▷親睦担当 北澤 正浩

現状では、引き続きコロナ禍の影響で予定していた親睦活動も延期が余儀なくされている状態で十分な成果は出ておりません。コロナ禍が徐々に収まりつつありますので、今後ロータリー会員間でコミュニケーションを図る為に様々なイベントを企画し、あらゆる機会を利用して今まで以上に会員の親睦へと繋がるような活動を目指してまいります。

#### ■ニコニコ BOX

安藤 公一／平子さん、卓話宜しく申し上げます。

新川 尚／平子さん、本日の卓話宜しく申し上げます。

平子 智章／本日の卓話、宜しく申し上げます。

二宮麻理子／平子さん、本日の卓話宜しく申し上げます。

内田 敏／平子さん、本日の卓話楽しみにしています。

北澤 正浩／平子さん、卓話楽しみにしています。

岡田 隆／平子さん、本日の卓話楽しみにしています。

関口 大樹／平子さん、本日の卓話宜しく申し上げます。

■卓話／2022・23年度の神奈川県経済の見通し 平子 智章

経済正常化により持ち直すものの、海外経済の減速が重荷に

【2022年度の見通し】

◆ 7～9月期は県内景気の回復テンポが一時的に加速。中国経済の回復により輸出は増加。①雇用情勢が明確に改善していること、②コロナの感染拡大や外出自粛要請が人出に与える影響は弱まっていることから、個人消費も基調としては持ち直しが続く。

◆ 年度後半は県内景気の回復テンポが鈍化。①米欧経済の減速で輸出の増勢が鈍化する。②物価高によって個人消費の回復ペースが緩やかになる。③仕入コストの高止まりが企業利益を圧迫する。

【2023年度の見通し】

◆ 22年度に比べて県内景気の回復テンポは一段と緩やかになる。①海外経済のさらなる減速で財輸出の増勢が鈍化する、②雇用情勢の回復ペースが緩やかになり、個人消費の増勢も鈍化する。

### 【全国よりも高い成長率となる】

◆本県はこれまで、政府・自治体による経済活動の制限の要請（緊急事態宣言、まん延防止等重点措置）期間が長かったため、個人消費の反動増が見込みやすい。

◆加えて、本県は事業所が減少しにくい環境にあり、設備投資や雇用が増加しやすいことから、予測期間を通じて全国以上に高い成長率となる。（予測前提条件）

◆物価高などの影響で国内外の経済は減速へ

▷今回予測の前提条件となる当社の国内外の経済見通し（6月）は、物価高などの影響により米欧経済が減速していることを受けて、前回の県内経済見通しの前提とした2月の見通しから大幅に下方修正している。

▷当社以外でも、例えばIMFが発表した7月の経済見通しは、4月と比べて軒並み下方修正されており、先行きの世界経済の減速が強く意識される内容となった。

◆コロナの影響は次第に弱まると想定

▷新型コロナウイルスの影響は今後弱まると想定した。

▷過去の傾向を振り返ると、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、外出自粛が要請されると、県内の人出も減少する傾向にある。ただし、人出の減少度合いは、コロナ禍が始まった20年春から現在にかけて、徐々に小さくなっている。

◆「全国旅行支援」は9月から実施と仮定

▷県内宿泊者数は、県内客と首都圏客の持ち直しが継続。こうした近場の旅行需要の回復に追い風となっている県民割は、8月末まで継続すると想定している。

▷「全国旅行支援」は9月より開始と仮定した。22年度後半を中心に県内観光需要を下支えする。

### 《輸出》

海外経済の減速により財の輸出は次第に増勢鈍化【2022年度の見通し】

海外経済の減速により、21年度に比べて本県輸出の増勢は鈍化する。中国向けが同国の経済対策の効果で夏場に一時的に加速するものの、物価高の影響や利上げの効果によって、米欧経済は減速が鮮明となるとみられる。北米向け、西欧向けは次第に増勢が鈍化していく。

【2023年度の見通し】

海外経済が一段と減速することにより、財の輸

出ば増勢がさらに鈍化する。一方、20、21年度にほぼゼロ、22年度も回復が極めて緩慢だったインバウンドの回復が本格化し、サービスの輸出は増加する。

◆中国向けが弱含み、全体の伸びを抑えた

▷4~6月期の神奈川3港の実質輸出は、都市封鎖の影響を受けて、中国向けが大きく減少した。

▷21年に比べれば、自動車部品の供給制約が徐々に和らいでおり、輸送用機器の実質輸出は持ち直している。このため、自動車関連の輸出が多い北米向けは回復傾向にある。

◆今夏にいったん伸び率を高め、その後減速へ

▷中国経済は22年4、5月を境に持ち直している。また、今秋の共産党大会へ向けて、経済対策が本格化することが予想されるため、7~9月期に3港の中国向けの輸出は回復へ向かうと見込んでいる。

▷一方、米欧では物価高を受けて、景気指数が好不調の分かれ目である50を下回った。今後、政策金利引き上げの効果がより一層顕在化し、米欧の設備投資や耐久財消費を抑制すると考えられる。

▷23年度は財輸出は減速するものの、インバウンドの回復本格化でサービス輸出は増勢加速の見込み。

◆円安進行が本県輸出に与えるプラス効果は限定的

▷2010年代以降、円安局面でも本県の輸出が増加しにくい状況が続いている。円の実力を示す実質実効為替レートは、足元で歴史的な円安水準にあるが、神奈川3港の実質輸出は伸び悩む。▷背景には製造業の生産拠点の海外移転が進み、本県産業は00年代に比べて、円安によるプラス効果を受けにくい構造に変化していることがある。

### 《企業収益》

増益率は22年度に減速、23年度も一層鈍化

【2022年度の見通し】

コロナの影響が弱まることなどから、県内企業は増収が見込まれるものの、①海外経済の減速による輸出の増勢鈍化、②仕入コストの急上昇により、企業の増益率は21年度に比べて大幅に鈍化する。

【2023年度の見通し】①海外経済の一段の減速により、財の輸出がさらに鈍化すること、②コロナ禍で抑制された個人消費の反動増が一巡することなどから、県内企業の増益率は22年度に比べてさらに鈍化する。ただし、利益の水準

は高い。

◆ 製造業の生産活動は 4~5 月に伸び悩んだ

▷ 4~5 月期の県内製造業の生産活動は、①中国の都市封鎖の影響を受けて実質輸出全体の伸びが小さかったこと、②自動車部品の供給制約の影響が、完全には解消しなかったことから、横ばい圏で推移した。

▷ 業種別では、生産用機械が海外経済の減速により、足元で鈍い動きとなった。5 月の輸送機械は供給制約の影響で低下。一方、国内の経済活動正常化の動きを受けて、内需系の食料品・飲料は足元で回復傾向。

◆ 仕入価格上昇により企業の増益率は鈍化へ

▷ ①米欧を中心に海外経済が減速する見通しであること、②仕入価格上昇の影響が多くの企業に広がっていることにより、22 年度の県内企業の増益率は 21 年度に比べて鈍化する見通しである。

▷ 県内企業の仕入価格動向 DI は、近年で最も高かった 08 年や、70 年代末の第 2 次オイルショック時を上回っている。仕入価格の上昇が多くの県内企業に広がる中、販売価格動向 DI は仕入価格動向 DI に比べると上昇が鈍く、企業は仕入コストの上昇を販売価格に十分には転嫁できていない模様。

《個人消費》

雇用回復、コロナの影響の弱まりで個人消費は回復

【2022 年度の見通し】

雇用の回復が県内の個人消費を支える。また、コロナ禍で抑制されていたサービス消費が持ち直す。ただ、物価高が家計を圧迫するため、過剰貯蓄が減少していき、年度末に近づくにつれて個人消費の回復ペースは鈍化する。

【2023 年度の見通し】

県内の個人消費は回復基調を維持する。ただ、①雇用の回復ペースが鈍化すること、②コロナ禍で抑制されていたサービス消費の反動増の顕在化が一巡することから、個人・消費の伸びは 22 年度に比べて緩やかになる。

◆ コロナの影響が弱まり、百貨店、サービスが回復

▷ 4~6 月期はコロナの影響が弱まり、個人消費全体を支えた。

▷ 3 月にまん延防止等重点措置が解除されたことや、3 回目のコロナワクチン接種が進んでいることから、人々の外出機会が増加し、県内の百貨店販売額や、旅行、外食といった県内のサービス消費は、4~6 月期に回復が明確化した。

◆ 過剰貯蓄が積み上がる一方、物価高が消費の重荷  
▷ コロナ禍以降、外出自粛により消費支出が抑制されたため、県内の家計でも平時以上に貯蓄が積み上がっている。過剰に蓄えられた貯蓄が、コロナ禍で抑制された消費の反動増の原資となる。

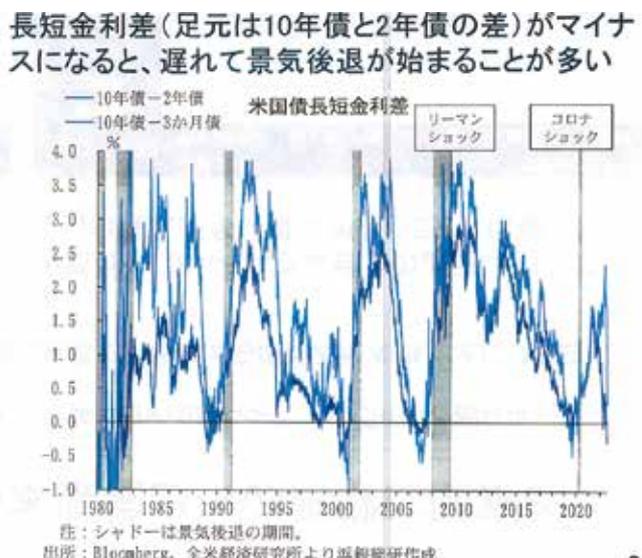
▷ 一方、県内でも物価上昇率が高まっており、消費回復の重荷になっていると考えられる。

《トピックス》

海外経済の予測が一段と下方修正されるリスク有

▷ 22 年 4~6 月期の GDP は、物価高の影響などで米国が前期比マイナス成長。都市封鎖による経済活動の制約が響き、中国も前期比マイナス成長となった（前年比はわずかにプラス）。

▷ 米国やユーロ圏は今後物価高が和らぐこと、中国は行動制限の反動による生産増と経済対策の効果により、海外経済は深刻な景気後退には至らないと当社は想定している。ただ、米国債券市場では、米国経済の景気後退を示唆するシグナルが出ており、リセッション懸念は高まっている（右図）。



■ 次週卓話 10/5 米山フォーラム 石山健人（地区米山奨学金増進委員長） 横浜瀬谷 RC